

# 決定!! 2018年本屋大賞



大賞 『かがみの孤城』辻村深月(ポプラ社)

2位 『盤上の向日葵』柚月裕子(中央公論新社)

3位 『屍人荘の殺人』今村昌弘(東京創元社)

4位 『たゆたえども沈まず』原田マハ(幻冬舎)

5位 『AX アックス』伊坂幸太郎(KADOKAWA)

6位 『騙し絵の牙』塩田武士(KADOKAWA)

7位 『星の子』今村夏子(朝日新聞出版)

8位 『崩れる脳を抱きしめて』知念実希人(実業之日本社)

9位 『百貨の魔法』村山早紀(ポプラ社)

10位 『キラキラ共和国』小川糸(幻冬舎)

全国書店員の投票で選ばれたベスト10 2016年12月~2017年11月に刊行された日本人作家の小説の中で、書店員自身が自分で読んで、いちばんお勧めしたいと思った作品です。

Supported by

NOLTY® PAGEM  
ノルティ ベイジェム

手帳ブランドNOLTY/PAGEMは本屋大賞に協賛し、応援しています。